



被災者対策等に全力を傾注



厚生省内の対策本部の会議にて

3月11日、わが国の歴史上類をみない大地震と津波が東日本を覆い、多くの方が犠牲になり、いまだに数十万人の方が住居を失い困難な生活を送っています。また、福島第一原子力発電所の事故に伴い、様々な問題が起こっています。

細川律夫厚生労働大臣は、連日これらの問題に取り組むとともに、国会においても、予算委員会、厚生労働委員会で報告しています。

被災者の支援

第一は、被災された人々への支援です。厚生労働省は災害救助法を所管する官庁ですから、被災者支援の枠組みをつくり、県や市町村と連携し、危機に対応しなければなりません。地震・津波の直後は、傷病者への支援、被災した病院や介護施設の人々の搬送、医薬品の供給が急務でした。燃料不足もあり、各地で大変困難な状況が

続きましたが、関係者の懸命な努力によって、何とか危機的事態は収まりました。災害弱者を優先するという点で多くの皆さんに協力していただきました。

時間が経過するにつれ、被災者の生活をどう維持していくかが大きな課題です。厚生労働省としては、医師、看護師、保健師などの皆さんを現地に送り、医療、保健衛生、心のケアにあたるとともに、雇用関係の相談に乗って、失業給付を簡単にできるようにし、あるいは小口資金の貸付を行うなどの業務を続けています。

原発事故による被害対応

第二は、福島第一原発の放射能漏れに伴う問題です。特に、厚生労働省としては、食品と水に対する放射能の影響に苦慮しています。食品衛生法上に規制値を設け、ヨウ素131など放射性物質が基準を超えている場合は、出荷や摂取の規制を行っているところです。ところが、この点は必要以上に住民に不安を与え、風評被害も出ているため、政府としては基準以下の数値も公表し、様々な角度で健康被害の可能性の少なさも言及しているところです。皆様には根拠のない情報に惑わされず、冷静な行動をとってほしいと考えております。

原発で作業を行っていた人たちが被曝事故に遭いました。労働者の安全を確保することも厚生労働省の役割です。この間、内閣からの要請もあり、被曝の限度基準を毎時100ミリシーベルトから250ミリシーベルトに上げた経過もありますが、今回の事故は一時的に大きな放射線量を浴びた可能性があります。作業員の安全確保を第一に考えながら、原発事故の沈静化のための作業を続けなければなりません。

計画停電対策

第三は、計画停電に対する対応です。当初は、自宅の電源で人工呼吸器を使っている人の対応などで大わらわでした。今でも、病院で自家発電だけでは必要な電力が確保できないといった問題があり、東京電力に対し、救急の拠点病院などで停電にならないよう要請をしています。また、多くの事業者が停電中の休業を余儀なくされるため、労働者の賃金問題も起こっています。こうした課題についても対策を検討しているところです。



衆議院厚生労働委員会では答弁する細川大臣

いずれにせよ、細川厚労大臣は連日役所内で厚労省の職員に対して、部局の壁を越えて全力で取り組むよう指示しています。日常の業務と異なり、毎日決断を求められ、大臣の判断により、国民の生命や健康が左右されるという大変な緊張感の下、仕事を続けています。

予算成立、子ども手当の「つなぎ法案」衆院可決

平成23年度予算は、参議院での否決後、衆院優越の規定により29日成立しました。

「子ども手当法案」については、自公の賛同を得られず、民主党より22年度法案をそのまま6か月延長する内容のいわゆる「つなぎ法案」を提出し、29日衆議院を通過しました。しかし、「ねじれ」状態である参議院でどうなるか予断を許しません。この法案が通らなければ、4月1日以降は旧児童手当が復活することになりますが、現場の市町村の混乱を避けるためにも、まずはこの法案を通してもらいたいと考えているところです。

埼玉県議選と越谷市議選

東京都知事選など、統一地方選挙の前半戦がすでに始まっています。埼玉県議会議員選挙は4月1日に告示され、10日が投開票となります。民主党としては、南1区（草加市／定数3）では、現職の山川百合子さんを、東9区（越谷市／定数4）では、新人の山本正乃さんと細川威さんを公認し、この選挙に臨みます。

今回の県議選、民主党埼玉県連としては、4名区以上は複数候補者を擁立するという方針で臨みました。しかし、昨今の民主党に対する逆風などにより、結果的には越谷市のみが複数候補者となり、他の3選挙区は1名に留まりました。その意味からも、何とかして越谷の選挙区で2名の当選を果たすべく、運動を続けているところです。

後半戦の越谷市議選は4月17日告示、24日投開票の日程で行われます。民主党埼玉県連では下記の人たちの擁立を決定しています。

現職では、永井龍男さん（7期目）、玉生芳明さん（4期目）、大石美恵子さん（3期目）を公認、佐々木浩さん（5期目）を推薦しました。元職では、後藤孝江さん（4期目）を公認、新人では、高橋幸一さん、福田晃さんを公認、橋本哲寿さんを推薦しています。

細川律夫より一言

少し暖くなりました。
マグネチュード9.0、10mを越
す大津波。加えて福島原子力
発電所の事故。規模の大き
被害者の数などまさに国難
です。日本人は力を合せてこ
の国難を乗り越えよう。日本
は再興しよう。私も先頭
にたて張ります。